（仮称）新熊谷衛生センター整備事業に係る生活環境影響調査書への意見に対する見解

番号	意見	見解
1	ごみ焼却施設は、ダイオキシンなど有害物質による大気汚染、健康被害への不安、パッカー車による交通渋滞等の生活環境悪化のマイナスイメージがある。プラスイメージとしての地元還元の恩恵は次のことが考えられる。 (1) ごみ焼却施設の煙筒を利用した展望台 (2) 防災倉庫、避難所の設置	(1) 公園を見渡せる展望台は一定の集客を見込めると考えられますが、煙突の耐震性の強化や人を安全に立ち入らせるための設備の追加等、整備費及び景観的な影響が大きくなるため、設置は計画しておりません。 (2) ごみ焼却による発電及び余熱供給を予定しているため、防災の拠点として適していると考えております。今後、防災計画上での位置付けについて担当課と協議してまいります。